

12月に入り、クリスマスのイルミネーションがキラキラと心を躍らせる季節、また、寒さも厳しく体が縮こまる日々もありますが、そんな寒さもおかまいなしに元気いっぱいのこども達です。

今月もまた、自分達で“お茶を点てる”経験をさせてもらいました。2回目ということで、点てる側はどこか得意げで様になり、頂く側もみんな残さず飲んでいましたよ。

今回は…自分で作った“MY お茶碗”を使つての初釜お茶会となります。自分でデザインし、色づけをした世界でたったひとつのお茶碗の仕上がりが今から楽しみです！

* 12 月のお菓子 *



- ・ヒイラギ
- ・クリスマス
(数種類あり)

* 12 月のお花 *



- ・小菊
- ・もみじ



全員の礼から、お稽古が始まります



お道具の名前、しっかり覚えましてね！



先生のお手本を見てから始めましょう



心を落ち着かせて…



数字の「1」を書くように…
シャカシャカシャカ



もう少しだよがんばって



上手に
できました



お茶ちょうだいします



点ててくれたお友達に感謝



みんな、きれいに飲み干してました

お茶碗について

茶道の道具の中에서도大切なお茶を飲むための器です。

らくやき はぎやき からつやき きょうやき
楽焼や萩焼、唐津焼、京焼など各地の焼き物があります。ぞう組さんが造っているのは奈良の赤膚焼あかはだやきです。

焼き物には陶器と磁器があり、造り方が違ってきます。日常生活で食器として使われているものは磁器が多く、お抹茶茶碗としては陶器がよく使われます。温かな肌触りがします。

陶器は、低い温度でゆっくり焼かれていて壊れやすく、磁器は高い温度で焼き締められ硬く出来上がっています。ぞう組さんのお茶碗は陶器で扱いにきをつけないと口が欠けたり、割れてしまったりしやすいです。大切に丁寧にものを使う大事さを学習するよい機会でもありますね。